

Hearts(ハーツ)

Hearts(ハーツ)は、Health(健康)、Ecology&earth(環境と地球)、Amenity(快適)、Relief(安心)、Trust(信頼)、Symbiosis(共生)の意味が込められた生協のお店です。コロナ禍でも感染対策を行いながら、組合員に安心してお買い物いただけるお店を提供してきました。

●店舗事業高 10,745(百万円)

●家計シェア 8.0%



■ 5つの基本業務

ハーツでは、来店されたすべての方に満足いただけるように5つの重要な基本業務を意識して取り組みを行っています。

・清潔な売場 ・明るく元気な挨拶 ・品切れのない売場 ・鮮度と味の追求 ・毎日の献立紹介

■ スローショッピング「ゆっくりレジ」導入

「自分のペースでゆっくりお会計を♪」

組合員が後ろを気にせず、自分のペースで財布の中の小銭を探したり、レジ職員が高齢化社会に対応できるような温かい対応ができるようにスローショッピングを導入しました。2021年から導入し、徐々に時間帯を拡大し現在は、毎日フルタイム稼働しております。



■ ハーツの惣菜がスマイルケア食に認定

ふくいレインボーファームで製造したハーツの惣菜「福井県産小松菜を使った煮浸し」「福井県産大豆の煮豆」が、農林水産省の「スマイルケア食」に認証されました。高齢の方だけでなくお子さまや小食の方にも食事の一皿に加えていただくことで、効率よく栄養を摂取することができます。



■ ハーツアプリ

2020年12月に誕生したハーツアプリは、デジタルカードになり、チラシや予約注文の申し込み、お得なクーポンの配信など便利でお得なアプリです。2021年度はQR決済拡大と商品予約クレジット決済を導入し、より便利になりました。2022年3月までに3.8万人の方にダウンロードしていただきました。



■ てまえどりの取り組み

食品ロス削減を目的に、商品を購入してすぐに食べる場合には、商品を消費期限の短い手前にある商品から利用しようという「てまえどり」の運動をハーツで展開しました。てまえどりを実施することで、消費期限の迫った商品を廃棄することなく、食品廃棄物の削減にもつながるという取り組みで、組合員の協力も得ながら実施することができました。

	21年度	20年度	前年比
廃棄ロス金額(千円)	74,149	90,892	81.6%
廃棄ロス率	0.69%	0.84%	82.1%

